

# 製造分野における熱プロセスの脱炭素化 (国費負担額：上限325.1億円(全額GX))

- 欧米、中国において、自動車を始めとする様々な分野で、大手メーカーを中心にサプライチェーン全体での脱炭素化を指向する傾向が強まっており、サプライヤー企業に対しても、カーボンニュートラル対応を求める動きが出始めている。
- これを踏まえて、日本が国際競争力を有する産業を支える金属部品製造業等を念頭に、ゼロエミ燃料への転換や電化、省エネ等を組み合わせながら、工業炉メーカーを中心に、エネルギーの脱炭素化に対応する効率的な熱プロセスの開発・実証に取り組む。

## 開発する主な技術

- ゼロエミ燃料（水素・アンモニア等）を活用可能とした燃焼技術等に係る基盤技術
- 熱プロセスの電化を可能とする電気加熱の革新的な効率向上等に係る基盤技術



開発した技術を製造業サプライチェーンの各所の熱プロセスに適用

### 素材（上流）

#### 鉄鋼加熱・圧延工程



### 加工（中流）

#### 鍛造工程



#### 焼結工程



#### 鋳造工程



#### 金属熱処理工程



### 製品（下流）

#### 塗装工程

